

愛知県、科学技術交流財団、中部経済連合会合同講演会

中部地域に最先端X線計測分析施設

『シンクロトロン』が誕生します！

～企業課題解決の強力なツールとなる中部シンクロトロン光～

愛知県では、産学行政が連携して、次世代モノづくり技術の創造・発信に向け、企業や大学の研究開発・事業化を推進する「知の拠点」づくりを推進しており、平成24年度には、ナノテク分野で注目される「中部シンクロトロン光利用施設(仮称)」がオープンします。

「中部シンクロトロン光利用施設(仮称)」は産業利用を重視した施設であり、モノづくりのイノベーションが期待されます。

この講演会では、広く産業界の方々に、その特色、活用方法を知っていただくために、シンクロトロン光の産業界における活用事例を中心に紹介いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時 平成23年2月15日(火) 午後1:30(受付1:10)～4:50

会場 愛知芸術文化センター12階 アートスペースA
(名古屋市東区東桜1-13-2)

プログラム 「企業によるシンクロトロン光の活用方法(事例を中心に)」

講師：財団法人 科学技術交流財団

総務部 知の拠点施設整備課 産業利用アドバイザー 古宮 聡 氏

「自動車分野におけるシンクロトロン光の活用事例」

講師：トヨタ自動車株式会社

材料技術統括部 材料解析室長 牧野 浩 氏

「中部シンクロトロン光利用施設の支援体制」

講師：国立大学法人 名古屋大学

工学研究科教授(シンクロトロン光研究センター長) 竹田 美和 氏

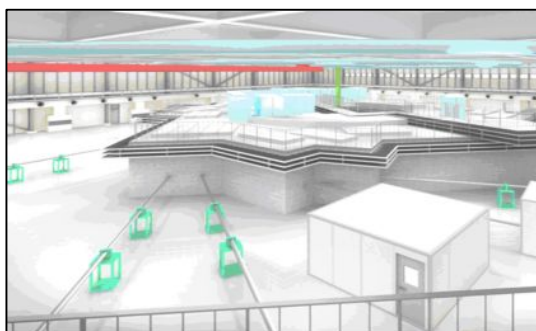
※講演終了後に「相談コーナー」を設けます。(午後4:50終了)

定員

170名

参加費無料

裏面下部の申込書により
お申し込みください。

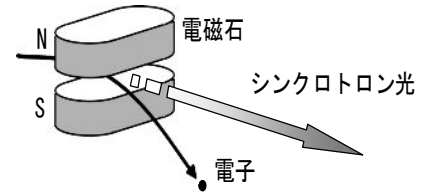


【施設の概要】

- 施設名称 中部シンクロトロン光利用施設(仮称)
- 整備・運営 財団法人科学技術交流財団
- 供用開始予定 平成24年度
- 所在地 愛知県瀬戸市
- 性能 加速エネルギー(電子)：1.2GeV(電子ボルト)
ビームライン本数：当初6本整備
(24本まで設置可)

シンクロtron光とは

「シンクロtron光」は、通常用いられている光源やX線源に比べて、1千倍から100万倍も明るく、1台の装置で様々な分析を可能とする「夢の光」といわれ、企業や大学の研究開発・製品開発への利用が期待されます。



産業利用を重視した共同利用施設

当施設は、産業利用を主な目的とした地域共同利用施設で、利用のための技術支援や解析支援を行うため、初めての方でも安心して利用ができます。



- 排気ガス等環境浄化触媒の開発
- 燃料電池、二次電池用部材（電極、電解質、分離膜等）の開発
- 機能性セラミックスの開発（生活用品から電子部品）
- 有機無機複合化による機能性ナノ薄膜の開発
- 次世代半導体用新素材の開発
- レアアースの代替材料の開発
- インテリジェント医療診断チップの開発 など

問合先：愛知県 産業労働部 新産業課科学技術推進室 電話 052-954-6352
 財団法人 科学技術交流財団 総務部知の拠点施設整備課 電話 052-231-1477
 社団法人 中部経済連合会 技術部 電話 052-962-8091

申込先：愛知県 産業労働部 新産業課科学技術推進室
 FAX 052-954-6977
 電子メール kagaku@pref.aichi.lg.jp

申込方法

2/15 シンクロtron光講演会申込書

- ・上記送信先に、FAX又は電子メールにより次の事項をお知らせください。
- ・FAXの場合は、この用紙にご記入の上、お申込みください。
- ・電子メールの場合は、件名を「2/15 シンクロtron光講演会」としてお申込ください。

| | | | |
|---------|---|--------|---|
| 会社等の名称 | | | |
| 住所 | 〒 | | |
| 連絡先 所属名 | | 電話 | |
| 役職名 | | FAX | |
| 氏名 | | E-mail | |
| 参加者 役職名 | ① | ② | ③ |
| 氏名 | ① | ② | ③ |

参加者が3名以上の場合は、欄外等にご記入ください。